

富山とくすり Medicine in Toyama  バイオ医薬品		配当学年	1～4年
		開講学期	前期・集中講座
		単位数	1
		単位区分	
担当教員	富山県立大学（寄附講座）教員	関連する 学習・教育目標	
授業の目標	くすりの歴史、製造、開発に関わる幅広い知識を習得し、くすりの働きについて理解を深める。特にバイオ医薬品に焦点を当て講義を行う。		
学生の到達目標	① バイオ医薬品の歴史、製造、分析、開発を理解し、その概要を説明することができる。 ② バイオ医薬品の働きについてその概要を説明することができる。		
授業計画	① 医薬品とは（合成医薬品やバイオ医薬品他） ② 医薬品の製造（低分子医薬品とバイオ医薬品の違い等） ③ 抗体医薬品（バイオ医薬品）の製造と品質 ④ バイオ医薬品の新しいモダリティ ⑤ バイオ医薬品の品質はどう守られているのかー前半ー ⑥ 世界を飛び回る医薬の品質を守る仕事ー海外規制当局者のリアル体験談ー ⑦ バイオ医薬品の品質はどう守られているのかー後半ー ⑧ “製薬”概論：国内製薬産業の現状と課題（医薬品開発・製造の視点から）		
キーワード	低分子医薬品とバイオ医薬品、遺伝子、遺伝子組み換え、細胞、細胞培養、医薬品のモダリティ、抗体、ワクチン、核酸医薬、遺伝子治療		
成績評価法	レポートによって評価する。		
成績評価基準	レポート（100%）		
教科書・教材 参考書等			
関連科目・ 履修条件等			
履修上の 注意事項や 学習上の助言	講義日に資料を配付するので、授業後に復習し、理解の助けとすること。		
学生からの 質問への 対応方法			